

## 4. 産業別就業人口

本町は、昭和 60 年の国勢調査までは第 1 次産業の就業率が 4 割を超え、農業を基幹産業とする町でしたが、少子高齢化や産業構造の変化などにより、就業者数およびその構成比は年々減少しています。

また、第 2 次産業においても、2000 年以降、就業者数の減少傾向が続いています。

第 3 次産業については、2010 年の調査では構成比が半分以上となり、以降もその比率は増加していますが、就業者数は同年の調査から減少に転じています。

■ 産業別就業人口

|             |         | 2000 年 | 2005 年 | 2010 年 | 2015 年 | 2020 年 |
|-------------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 就業者数<br>(人) | 第 1 次産業 | 3,226  | 3,003  | 2,605  | 2,355  | 2,014  |
|             | 第 2 次産業 | 3,294  | 2,559  | 2,099  | 2,039  | 1,932  |
|             | 第 3 次産業 | 5,133  | 5,347  | 5,050  | 4,976  | 4,866  |
| 構成比<br>(%)  | 第 1 次産業 | 27.7   | 27.5   | 26.7   | 25.1   | 22.9   |
|             | 第 2 次産業 | 28.3   | 23.5   | 21.5   | 21.8   | 21.9   |
|             | 第 3 次産業 | 44.0   | 49.0   | 51.8   | 53.1   | 55.2   |

